



2025年9月

PIANC スマートリバーズ2025は大成功を収めました！



9月5日から12日にかけて、米国テネシー州メンフィスで開催されたPIANC-Smart Rivers 2025会議は、素晴らしい1週間となりました。世界の航行可能な河川を称えるこの素晴らしい会議の企画・運営を行ったPIANC USAに対し、心より感謝申し上げます。20カ国から集まった350名の参加者は、革新的なプレゼンテーション、ハイレベルの技術セッション、実地のショートコース、示唆に富んだ基調講演及び官民学のセクターを越えた有意義な対話を体験しました。

本イベントの写真はPIANC-Smart Riversウェブサイトでご覧いただけます。

テネシー州メンフィス開催のPIANCスマートリバーズ2025会議の閉会にあたり、ミシシッピ川流域司令官キンバリー・ピープルズ(Kimberly Peeples)少

将は、世界各国の水路のリーダー達と共に「大いなる航行可能な河川」と題したパネルディスカッションに参加しました。米国陸軍工兵隊(USACE)、メコン川委員会、ベルギー公共事業・モビリティ省、ブラジル国家水路運輸庁のパネリスト達は各機関が管理する重要な水路システムに関する知見を共有し、ガバナンスや運用要件から自然災害への対応、基幹的なインフラの維持管理に至るまで、発表と質疑応答を通して示唆に富む議論が交わされた。

木曜日と金曜日(9/11, 9/12)には、参加者はメンフィス港・技術視察ツアー、メンフィス・ウォーターフロント散策ツアーや、水辺・海洋施設技術ツアーからのオプションツアーに参加しました。さらに金曜日(9/13)は、(ハイブリッド形式)シンポジウム「交通システムレベルの強靱化」に参加した方もいました。エルビス・プレスリー愛好家の方々は、バスでグレースランドへ向かい、プレスリー邸宅の見学ツアーを楽しむこともできました！

ご参加いただいた皆様、そして本会議を成功裏に導くためのご協力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます！



今後のPIANCイベントにご参加ください！

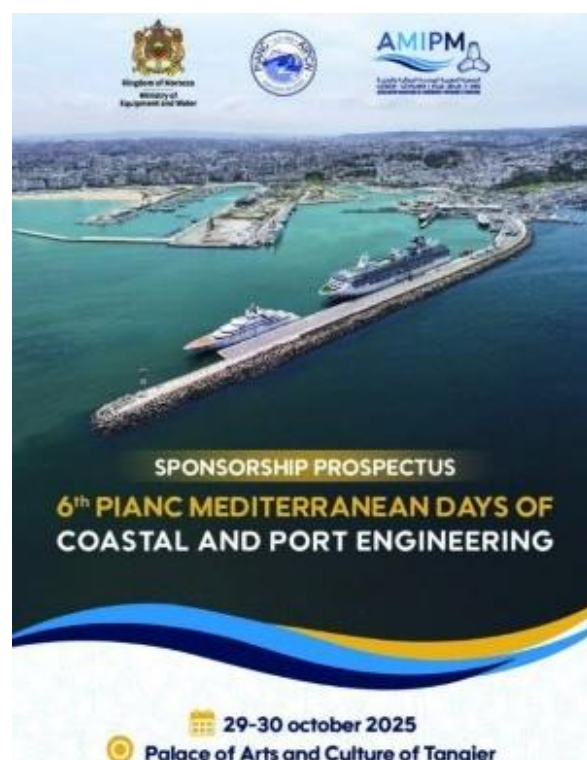
PIANC アフリカ・ウェビナー
2025年10月16日

PIANC 地中海デイズ 2025
2025年10月29日～30日



時間：16:30～18:00 SAST/UTC+2

[参加登録 こちら！](#)



オプション視察ツアー：Cap Spartel灯台
(10/29)及びタンジェ港(Tanger Med Port)(10/30)

[参加登録 こちら！](#)

PIANC 「北海」会議及び年次総会2026
PIANC NORTH SEA CONFERENCE & AGA 2026
2026年5月11日-15日



ウェブサイト開設, 2026年1月より参加登録受付開始!

[ウェブサイト こちら!](#)

PIANC 第11回COPEDEC 2027
PIANC-COPEDEC XI
2027年2月21日~26日



第1回お知らせのダウンロード [こちら!](#)
または ウェブサイト参照(下記クリック)

[ウェブサイト こちら!](#)

本部執行会議からのニュース



2025年第3回執行委員会(ExCom),
米国テネシー州メンフィス

9月7日, 執行委員会メンバーはメンフィス・シェラトンホテルで本年3回目の会合を開催しました。

※リンク先記事の「仮訳」は[10頁参照](#)

第93回評議会(93rd Council), 米国テネシー州メンフィス

9月8日, PIANC評議会メンバーはメンフィスのRenasantコンベンションセンターにて第93回会合を開催(ハイブリッド形式)。

※リンク先記事の「仮訳」は[10頁参照](#)



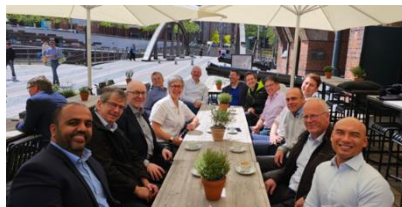
PIANC 各委員会からのニュース

PIANC 各WGからのニュース



[内陸水路委\(InCom\)WG 206 - '水路閘門の設計\(Design of Navigation Locks\)' メンフィスにてワークショップ開催](#)

※リンク先記事の「仮訳」は [11頁参照](#)



[海港委\(MarCom\)WG 248のハンブルク会合：船舶への陸上給電ガイドライン\(Shore Power Guidelines\)の進展](#)

※リンク先記事の「仮訳」は [13頁参照](#)



[海港委\(MarCom\)WG 252-‘海上インフラプロジェクトの設計による安全性\(Safety by Design of Maritime Infrastructure Projects\)’の第2回対面会合](#)

※リンク先記事の「仮訳」は [15頁参照](#)



[WG256\(ブルーカーボンの理解醸成-実践ガイド\(Understanding Blue Carbon: A Practical Guide\)\)ブルーカーボン議論のための会合](#)

※リンク先記事の「仮訳」は [16頁参照](#)

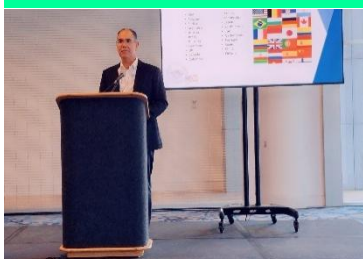
環境委
(EnviCom)



[内陸水路委\(InCom\)WG257\(内陸水路及びインフラの運用・モニタリングのためのデジタル・ツイン](#)

[\(Digital Twins for Operation & Monitoring of Inland Waterways & Infrastructure\)\)の進捗状況](#) ※リンク先記事の「仮訳」は [16頁参照](#)

内陸水路委員会(InCom)からのニュース



•PIANC-スマートリバーズ2025における内陸水路委(InCom)の活動概要報告 ※リンク先記事の「仮訳」は [17頁参照](#)

•アンドレアス・ドムス委員(Mr. Andreas Dohms)の退任

レクリエーション委員会(RecCom)からのニュース



[イアン・ドブソン氏\(Mr. Ian Dobson\)がPIANCレクリエーション委員会\(RecCom\)の新しい委員長に就任](#)

※リンク先記事の「仮訳」は [17頁参照](#)

振興委員会(ProCom)からのニュース



[振興委員会\(ProCom\)の2025年第3回会合](#)
※リンク先記事の「仮訳」は[19頁参照](#)

若手技術者委員会(YP-Com)からのニュース



•[来る第46回YP-Com代表者会議\(オンライン会合\)](#)

※リンク先記事の「仮訳」は[19頁参照](#)

•[2025年の地域YPイベントのお知らせ](#)

※リンク先記事の「仮訳」は[20頁参照](#)

「学生会員」資格に関するニュース



🎓 水上交通インフラ／エンジニアリング分野の学生のみなさまへ、貴方のネットワークを広げ、スキル強化や、関連する適切な経験と人脈構築で履歴書を充実させる準備はできていますか？

👉 **PIANC学生会員に無料で2年間ご登録いただき、以下の特典や機会・メリットを活用してください：**

- ☒ 国内外の専門家や意欲的な他の学生と交流
- ☒ PIANCイベントへの参加登録料の割引やPIANC会員限定イベントへのアクセス
- ☒ PIANCの各委員会や各ワーキンググループ(WG)への参加
- ☒ PIANC会員名簿へのアクセス
- ☒ 必要とする動機・理由に応じ、ご希望のPIANC報告書を入手可能

学業・研究を開始したばかりの方も、卒業間近の方も、学生生活を一層充実させる絶好の機会です！

●登録は簡単です：わずかの時間で費用はかかりません：<https://loom.ly/aRLFz-o>

👉 PIANC本部経由でお申し込みの場合は無料の学生会員オプションを選択するか、
国内部会を通して「**無料学生会員**」のお申し込みを**してください**⇒info@pianc-jp.org

この機会をぜひお見逃しなく、ご自身の成長に投資しましょう。

気候変動に関する常設タスクグループ(PTG CC)からのニュース



・シンポジウム「交通・輸送システム全体レベルの強靱化-課題と解決策 (Transportation System-Level Resilience – Challenges and Solutions)」2025年9月12日

※リンク先記事の「仮訳」は[20頁参照](#)

PIANCコミュニティからのニュース

各国部会や各国支部からの活動実績報告や今後のイベントの共有のお知らせ

PIANC オーストラリア&ニュージーランド
部会からのニュース

PIANC 日本部会からのニュース



[オーストラレーシア沿岸域・港湾2025会議
\(Australasian Coasts & Ports 2025\)
過去最大規模で開催！](#)



[PIANCアジアセミナー2025 10月21日に開催
参加聴講登録は \[こちら！\]\(#\)](#)

PIANC ポルトガル部会からのニュース

PIANC 米国部会からのニュース



[第12回 沿岸・港湾工学全国大会のお知らせ](#)



[PIANC スマート・リバーズ2025
開催結果の概要とハイライト](#)

PIANC メキシコ(資格会員)からのニュース



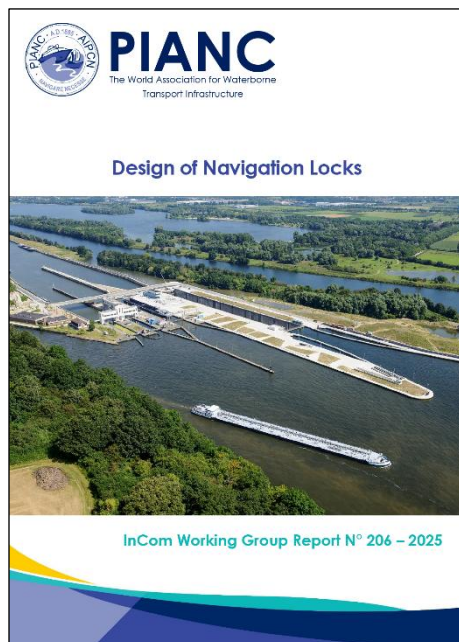
[AMIP*: メキシコ港湾セクターを59年間にわた
り主導 \(現在のPIANC QM\(資格会員\)\)](#)

*Mexican Association of Port, Maritime, and Coastal Infrastructure(メキシコ港湾・海上・沿岸インフラ協会)

出版物

最新の発刊

次の報告書が2025年8月に出版されました。



PIANC WG 206(内陸水路委員会(InCom)) :
'水路閘門の設計(Design of Navigation Locks)'

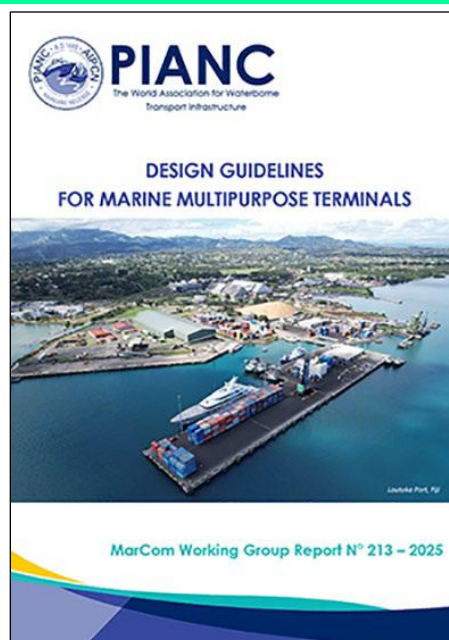
[PIANC会員は無料ダウンロード！](#)

[ウェブショップからの購入！](#)

発刊予定

次の報告書は2025年10月に出版予定です。

PIANC WG 213(海港委員会(MarCom)) :
'多目的海上ターミナルの設計ガイドライン(Design Guidelines for Marine Multipurpose Terminals)'



プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)は第II回PIANCスマートリバーズ会議を後援

9月8日から12日にかけて、第II回PIANC-スマートリバーズ会議が米国テネシー州メンフィスで開催されました。本会議はPIANCの支援のもと、PIANC米国が主催、世界の航行可能な河川が持つ重要性を称え、内陸水路交通分野における主要な課題と機会について議論されました。

PIANCのプラチナ会員として長年の支援を続けているSFTは、この重要なフォーラムにランヤード(ストラップ)スポンサーとして貢献できたことを誇りに思います。本フォーラムには多数の専門家が集結し、PIANCの使命と持続可能な水上輸送の発展を支援しました。

エンパル・ドルズ・ゴンザレス([Empar Dolz González](#))

SFTジュニア・マーケティング・マネージャー

Trelleborg社 PIANC防舷材ガイドラインに関する洞察に富むワークショップを共催

Trelleborg Marine and Infrastructure社は、業界の知識とベストプラクティスの展開に向けた共同の取組みの一環として、Jacobs社と共催でワークショップ「設計者および施設所有者向けのPIANC防舷材ガイドライン2024(WG 2II報告書)の活用」を共催しました。2025年7月30日、クイーンズランド州ブリスベンで開催された本イベントでは、専門家・設計者・施設所有者が一堂に会し、船舶用フェンダーの最新の基準について議論しました。

本ワークショップでは、PIANC WG 2IIガイドラインを深く掘り下げ、港湾・海洋インフラにおける防舷材システムの最適化に向けた実践的知見を提供しました。参加者は設計上の考慮事項、性能基準、導入戦略に関する貴重な知見を得て、過酷な海洋環境下でのより安全かつ効率的な運用確保に寄与しました。

当社の参加チームはワークショップ全体を通じて対応し、技術的な適用に関する議論、導入事例の共有、本ガイドラインがガス移送オペレーションや防舷材の最適化戦略に与える影響の検討を行いました。

主要セッションでは、当社シドニー拠点の船舶用フェンダー事業部長であるアダム・セラーズ(Adam Sellers)氏によるプレゼンテーションが行われました。「製造企業の視点」と題した講演で、同氏はPIANCの新ガイドラインの適用に関する製造者としての見解を提示、基準が設計・製造プロセスに直接反映される仕組みを詳細に説明し、港湾・ターミナル運営者にとり信頼性が高く持続可能かつ費用対効果に優れた防舷材システムをもたらすと述べました。

本セッションの成功に尽力いただいたJacobs社と活発な議論を展開した参加者各位に深く感謝申し上げます。当社が先進的な海洋ソリューションに関する議論を主導する今後のイベント情報にご期待ください。

アレクサンドラ・ヤン(Alexandra Yang)

Marketing Executive Trelleborg Marine and Infrastructure

以下はPIANCのプラチナパートナーです：



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください：



ニュースレターのご購読をご希望ですか？ メール設定は [こちらから](#)

PIANC公式サイト：<https://www.pianc.org/>

PIANC会員になるには（右記、日本部会へご連絡を） info@pianc-jp.org

<https://www.pianc.org/join-pianc/>

2025年第3回執行委員会(ExCom) 於 米国テネシー州メンフィス

PIANC執行委員会(ExCom)は、2025年9月7日、PIANCスマートリバーズ2025会議開催の前日、米国テネシー州メンフィスのシェラトンホテルにて、本年3回目の会合を開催しました。

これまでと同様、執行委員は前回会合の行動計画を確認し、各委員会の所掌WGの進捗状況および最新の活動状況について、各委員長から報告がなされました。加えてPIANCの財務状況、2026年PIANCデ・パエペ-ウィレムス賞(DE PAEPE-WILLEMS AWARD)の候補者、環境委員会専門用語集、環境委員会「持続可能性に関する白書」、並びに「PIANC自然との共生賞」及び「PIANC優良マリーナ 'ジャック・ニコル'デザイン賞(MEDA)」の両賞に関する規約の改正最終案について審議しました。



本会合では、PIANC学生会員の無料制度、姉妹組織との関係、IMO(国際海事機関)及びCOPRI(Coasts, Oceans, Ports & Rivers Institute, USACE)との協力についても議論されました。最後に、執行委員会では、今後の本部会議と予定されている国際イベントを確認しました。

第93回評議会(93rd Council), 於 米国テネシー州メンフィス

PIANC評議会及び各国事務局長会議は2025年9月8日、メンフィスのレナサント・コンベンションセンターにて、PIANCスマートリバーズ2025会議初日に第93回会合を開催しました。

従来どおり、評議委員は前回会議の行動計画及び、2026年のPIANC空席ポストや無料学生会員制度などの幾つかの定例事項を確認しました。加えて、PIANCの財務状況と戦略的課題についても検討が行われました。



最後に評議委員は今後の本部会議日程と予定されている国際イベントについて確認しました。

内陸水路委(InCom)WG 206 - ‘水路閘門の設計(Design of Navigation Locks)’ メンフィスにてワークショップ開催

9月8日、米国メンフィスにて開催されたPIANCスマートリバーズ会議において、InCom WG 206は新たに発刊された報告書「水路閘門の設計」に関するワークショップを開催しました。発表者は左から順に、[Eric Johnson](#)氏(米国)、David Monfort氏(ベルギー)、[John Clarkson](#)氏(米国)、[Erwin Pechtold](#)氏(オランダ)、[Travis Adams](#)氏(米国)、Charlie Thomason氏(米国)、[Sébastien Roux](#)氏(フランス)です。



本ワークショップには世界各国から28名の専門家が参加、多くの新たな交流が生まれました。参加者からのフィードバックも好評でした。

WG報告書は以下のURLから入手可能です：

<https://www.pianc.org/publication/design-of-navigation-locks/>

本報告書は、水路閘門の計画、設計、建設および維持管理に関する詳細かつ最新のガイドを提示しています。PIANC WG 206により作成された本報告書は、1986年発刊の前報告書以降におけるベストプラクティスと技術的な進歩を反映しており、技術者、計画担当者および関係者の皆様に向けた強固なフレームワークを提供しています。

本報告書の概要

目的と範囲：

- 水路閘門のグローバルな設計手法の更新と統一化
- 閘門施設インフラの複雑化への対応、環境面・運用面における要求の高まりへの対応
- 効率的で持続可能な内陸水路輸送を推進するための閘門が果たす重要な役割を強調

設計の基本原則：

本報告書では、閘門設計に対する包括的かつ段階的なアプローチを概説：

- コンセプト開発：目標設定、費用対効果分析、関係者の合意形成
- 計画と実現可能性：運用要件の定義、概念・基本設計の開発
- 詳細設計：技術仕様、材料選定、リスク軽減計画の確定

構造・運用コンポーネント：

- コンクリート表面の平坦性、型枠・接合部の許容誤差など厳格な施工基準の規定
- 伸縮継手、バルブ、カルバート、アクセスシステム等の重要コンポーネントの統合の詳細記述
- 点検・修理の容易性の重視、運用中断を必要としない将来の維持管理に対応可能な設計

設備・安全システム：

- 係船柱、はしご、信号機、誘導構造物などの設備は、運用の効率性と安全性を考慮して設計



- 閘門設備は、現場の固有条件(水位、交通量など)に適応しなければならない
- 保護・保全対策には、転落防止、端部・縁部保護、壁体補強が含まれる

ゲート及びバルブ・エンジニアリング：

- 構造的な要件と運用面の環境に基づき、各種ゲートタイプ(mitre, single leaf, sector)を検討分析
- 性能と耐久性を考慮し、材質(鋼材、木材、アルミニウム、複合材)を選定
- ゲート設計時には、流れによる振動及び水圧荷重の影響を考慮

水理・環境面の考慮事項：

- 油圧システムは、注水/排水サイクルにおける速度、安全性、制御性を最適化
- 塩水侵入対策として、バブルスクリーンや洗浄システムなどを導入
- 節水対策および水管理戦略を閘門の運用・操作計画に組み込み

施工方法：

- 2つの主なアプローチ：ドライ式(Cofferdam, 締切矢板等)とウェット式(プレハブ工法)
- 施工方法の選択は、現場条件、環境配慮、プロジェクト工期に基づき検討

維持管理と改修：

- 維持管理は、定期点検レベルと緊急点検対応レベルの両方で計画
- 改修戦略は、最新基準や材料への更新を伴って老朽化インフラを対象とする
- 安全なアクセス、点検の間隔、主要部品の長期耐久性に重点を置く

結論：

本報告書は、現代の水路閘門プロジェクトにおける重要な参考資料として、技術的な堅実性と環境保全、長期的な運用性能のバランスを図っています。将来の輸送需要に対応し、適応性が高く効率的な閘門システムの開発を支援するもの。

John Clarkson
WG 206議長

海港委員会(MarCom) WG 248 – ‘船舶への陸上給電ガイドライン(Guidelines for Onshore Power Supply (OPS) for Ships)’

WG 248のハンブルク会合：給電ガイドライン(Shore Power Guidelines)の進展

2025年5月, WG 248メンバーは, ハンブルク港主催の一連の生産的な対面会議及びワークショップのため, 同港に参集しました。本会合は, 世界中の港湾における陸上給電(OPS)システムの設計, 導入及びガバナンスに関する包括的なガイドライン策定に向けた本WGの継続的な取り組みにおける重要な節目となりました。



会議には, エンジニアリング企業, 港湾管理者当局, 船級協会, 政府機関, 船主協会, 学術機関など世界中から多様な専門家が集結しました。彼らの共通の目標は, OPSの技術面・規制面・運用面の課題に対処し, 持続可能な海上インフラを支える実践的かつ先見性のある枠組みを構築することです。

構造化された協働：進捗推進のための7つのタスクフォース

ハンブルク会合の主要な成果の一つは, WG 248の活動を7つの重点タスクフォースに統合したことです。各タスクフォースでは, 以下のOPSシステムの重要な側面に取り組んでいます：

1. システム構成と機能性 - OPSの中核的なコンポーネントと運用原則の定義
2. 商業面・財務面・規制面の考慮事項 - ビジネスモデル, 資金調達・財務メカニズム, 政策的な枠組みの検討
3. 技術・設計上の考慮事項 - エンジニアリング基準, 安全性, 相互運用性への対応
4. 起動と試運転 - OPS設備の試験及び稼働開始の手順・プロトコルの確立
5. 運用と保守 - 長期的な信頼性と性能の確保
6. OPS導入事例・ケーススタディ - 実運用から得られた教訓の共有
7. 将来的な機会と統合 - 革新的な技術や他の港湾技術との相乗効果の展望

この体系的なアプローチにより, WG 248は取り組みの効率化, 最終ガイドラインが包括的かつ様々な港湾環境に適応可能になることを保証します。

OPSガイドラインの策定作業：得られた知見と課題

ハンブルク会合では, OPS開発における以下の主な知見と継続的な課題が浮き彫りとなりました：

- ・**技術的な複雑性**：既存港湾インフラへのOPS統合には, 特に古いターミナルにおいては慎重な計画と調整が必要
- ・**規制面のギャップ**：陸電供給に関して明確な義務付けを有する地域がある一方, 一貫した政策が欠如している地域もあり, 港湾運営者や船舶運航者の不確実性が発生

- **電力供給関連法令, 法的制限および計量要件**：多くの管轄区域において, 既存の電力供給関連法令はOPS供給モデルの適切な位置づけがない。港湾が電力供給者または仲介者として機能する際の制約が頻繁に発生, OPSシステムの起業・構築を複雑化させている
- **陸上電源の料金体系**：陸上電源のコストは, 港湾や地域間で料金モデルが大きく異なるため, 依然として議論となっている。WG 248では, 運用コストの回収とクリーンエネルギー利用促進やその他の要因をバランスさせる様々な料金戦略を検討中。
- **財務的な実現可能性**：特に小規模港湾において, 大きな初期費用と変動する利用率が障壁となっている
- **ステークホルダー間の連携**：OPS導入の成功は, 港湾・海運や電力企業・規制当局間の協力に依存

こうした課題にもかかわらず, WG 248メンバーは, 革新的な解決策やOPS採択に向けた機運の高まりを示している最近のプロジェクトから前向きな進展を共有しました。



これまでの進捗と今後の展開

WG248は設置以降, データ収集, 世界的な実践事例の分析, ガイドラインの予備的コンテンツ検討など著しい進展がありました。ハンブルク会合は, これらの作業の検証, 今後の明確な行動項目の設定などチェックポイントとなった：

- 各タスクフォースによるドラフトを2026年第3四半期までに最終稿とする
- 様々な調査結果・知見と提言を検証するステークホルダーとの協議の実施

WGでは, 港湾のクリーンエネルギーソリューションへの移行を支援可能な実用的で使いやすい報告書を作成することを再確認しました。

技術ツアー：ハンブルク港からの知見

ハンブルク訪問のハイライトは, ハンブルク港技術ツアーでした。WG 248メンバーはOPSシステムの実稼働状況を視察しました。その内容は以下のとおり：

- クルーズ船ターミナル及びコンテナターミナルの陸上電源設備の視察
- エネルギー管理システムと系統連携の実演
- 現地技術者・運営者とのこれまでの教訓に関する議論



この実践的体験は, 現場固有の解決策と運用ノウハウの重要性を再認識させるとともに, WG活動に貴重な背景知識と示唆をもたらしました。

今後の展望：2025年10月バルセロナ

WG 248の次回対面会議及びワークショップは, バルセロナ港主催により2025年10月に開催予定であ

り、WGメンバーはガイドラインのブラッシュアップとドラフト公開準備を継続します。バルセロナ会合では、現地関係機関との協議及び港湾内のOPS施設の技術ツアーが予定されています。

WGは今後も、各港湾の効果的な陸上電源の導入を支援可能なリソース提供に注力し、持続可能で強靱な水上交通インフラの振興というPIANCの広範な使命に貢献していきます。

ファウザン・ズルケプリ ([Fauzan Zulkhepli](#))

MarCom WG 248議長

海港委(MarCom) WG 252- ‘海上インフラプロジェクトの設計による安全性(Safety by Design of Maritime Infrastructure Projects)’ の第2回対面会合

9月中旬、WG 252(海上インフラプロジェクトの設計による安全性)は、第2回対面会議(於 英国ロンドン・WSP社Canary Wharf Office)を開催しました。2日間にわたるWG会合では、各章の整合性を図り、どのように報告書に統合化するか、設計と安全管理を統合化したワークフローの「ベストプラクティス」のプロセスマッピングや、代表的な海上インフラ・資産向けに教訓を整理したクイック・リファレンス表の作成に向けたブレインストーミングに焦点を当てた議論を行いました。



本報告書の目的は、プロジェクト内の様々な関係者に対し、設計段階で適用する特定プロセスと考慮事項を通して、施設・資産ライフサイクル全体にわたる安全性能を向上させる明確な指針の提供である。会合では、WSP社の鉄道分野のリスク管理専門家2名によるプレゼンも行われ、設計段階からの安全確保の取り組み方と、この分野における同社の先進性が紹介された。その後、WSP社、Cory Group、施工会社ISCの協力により、テムズ川沿いに新規建設中の廃棄物移送・埠頭施設を視察した。

活発な議論が行われ、WGが定期開催しているオンライン会議と対面機会の両者の価値を実証しました。WGでは従来どおり関心を有する業界関係者からのご意見をお待ちしており、安全設計プロセスを通して、より効果的に軽減が可能である現場特有の危険要因やリスクの把握のためのオンライン調査を準備中です。この調査により、設計者が施設・資産ライフサイクルにおいて、運営者・保守者・請負建設業者等が直面する典型的な海上インフラの設計リスクを把握可能な参考資料を作成します。来月発行のニュースレターには、この調査へのリンクを掲載予定です。

ロンドンでのWG開催、プレゼンテーション及び現地視察の手配にご尽力いただいたWSP社に深く感謝申し上げます。

エイダン・ルイス ([Aidan Lewis](#))

MarCom WG 252議長

環境委(EnviCom) WG256(ブルーカーボンの理解醸成-実践ガイド(Understanding Blue Carbon: A Practical Guide))ブルーカーボン議論のための会合

9月, 環境委員会 WG 256メンバーがブリュッセルで会合を開いた。活動開始から12ヶ月経過の現在, 世界各国からの参加メンバーはブルーカーボン実践と海事分野との関連性について議論した。ブルーカーボン・プロジェクトの実践的ガイドライン策定を目指す本WGは非常に意欲的な取り組みです。出席者(左から右へ): [Sarah Berben氏](#), [Jerome Curoy氏](#), [Kirsten Wolfstein氏](#), [Ine Moulart氏](#), Paul Krause氏, [Merel Kroeders氏](#), [Toby Tucker氏](#), [William Glamore氏](#), [Nigel Pontee氏](#)及び[Brent Hendriksen氏](#)。本WGでは2026年9月までの報告書完成を目標としています。



[William Glamore](#)

WG 256議長

内陸水路委(InCom) WG257(内陸水路及びインフラの運用・モニタリングのためのデジタル・ツイン(Digital Twins for Operation & Monitoring of Inland Waterways & Infrastructure))の進捗状況

デジタル・ツインをテーマとするWG 257は, 2025年9月19日に実りある第2回会合を開催した。本WGは技術報告書の詳細目次を確定し, 重要な段階を完了した。成果となる報告書は, デジタル・ツインに関する共通理解の確立のための基礎概念から始まり, PIANCコミュニティ向けの実践的ガイダンスを提供する構成であり, 基盤となる技術スタックの詳細説明の後, 実用的なライフサイクルへの適用, 実装の成熟度レベル, そして一連の具体的なユースケースへと展開していきます。

WGメンバーは現在, 割り当てられた章節のドラフト化を積極的に進めており, デジタル化に関するWG 264との緊密な連携も継続しています。次の主要なステップは, 1月にオランダで開催される対面会議で最初のドラフトをレビューする予定です。

[Fedor Baart](#)

WG 257議長

PIANC-スマートリバーズ2025における内陸水路委(InCom)の活動概要報告

PIANCスマートリバーズ2025会議において、Jose Sanchez氏(米国)はPIANC内陸水路委員会(InCom)の概要を説明しました。新たに設置された各WGの現況に加え、アジア、南米、アフリカ、東欧諸国からの参加拡大の必要性に特に重点を置き、他の加盟国からの幅広い参加の重要性についても議論が行なわれた。代表的なWG報告書に含まれる事例報告やトピックについても紹介されました。最後に参加者に対し、次の今後のイベントへの参加の呼びかけがありました：PIANCスマートリバーズ2027(インドネシア)、PIANCスマートリバーズ2029(ドイツ)、世界運河会議(ニューヨーク州バッファロー)。このセッシ

ョンには大勢の聴講者が参加し、捕捉の説明等を求める質疑応答が行われました。



Jose Sanchez
内陸水路委員会(InCom)委員

イアン・ドブソン氏(Mr. Ian Dobson)がPIANCレクリエーション委員会(RecCom)の新しい委員長に就任



PIANCレクリエーション委員会(RecCom)の委員長職を引き継ぐこととなりました。

最初に、過去数年にわたりRecComの活動を支えてきた[Esteban Biondi](#)氏の貢献に深く感謝申し上げます。同氏は今後も委員会の積極的なメンバーとして、この分野・業界における豊富な知識をもって支援を継続いただけると確信しております。

私の経歴について：英国を拠点とするエンジニアリング設計コンサルタント企業TILTを経営しており、あらゆる種類の海洋インフラ設計が専門です。その主要分野はマリーナ開発、商業用ポンツーン係留施設、特注の係留ソリューション等です。商業港湾や大型船舶向けインフラ事業も手掛けています。

これまでの最大規模プロジェクトの一つを落札できた決定的要



因の一つが、PIANC報告書に関する私の実証済みの知識であったことを喜んでご報告します！

加えて、私は現在も活動的な競技セーラーとして、国際レベルのディンギーやヨットのレースに参加しています(過去、8つの世界選手権タイトルを獲得)。

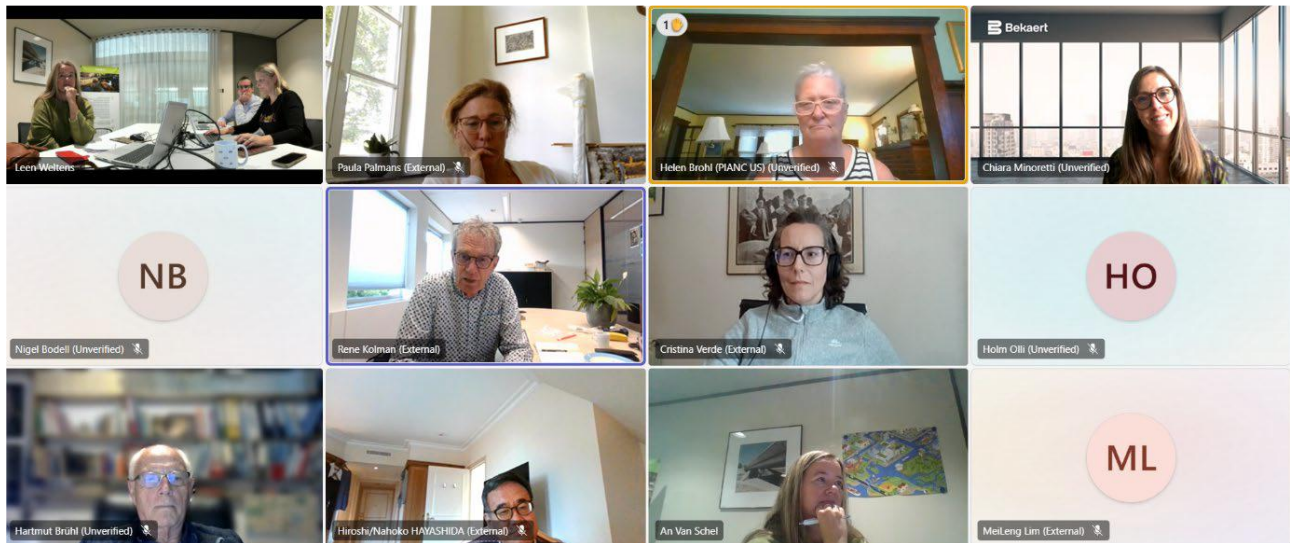
現在は息子とミラーディンギーでレースに参加中、ヨーロッパ各地ではJ70、米国ロードアイランド州ニューポートでIC37を操っています！

レクリエーション委員会(RecCom)は、10月にヴェネツィアで開催される世界マリーナ会議での皆さまとの対面を楽しみにしております。なんとも素晴らしい会場です。海事産業におけるレクリエーション分野では、議論すべき課題や大きな進歩があり、これらを捉え理解する必要があります。現在のRecComのWGは多岐にわたりますが、多くのWGおよびRecCom内の一部地域代表に空きポストがあります。以下の分野で実務経験や専門知識をお持ちの方のご関心やご参加をお待ちしています：

WG No.	WG名称
149	PIANCマリーナ設計ガイドライン(うち、第3部、第5部) PIANC Guidelines for Marina Design (parts 3 and 5)
222	マリーナにおける浮防波堤設計ガイドライン Design Guidelines for Floating Breakwaters in Marinas
244	マリーナ・ボートハーバー向けの気候変動適応策計画 Climate Change Adaptation Planning for Marinas and Boat Harbours
217	レクリエーション用船舶の代替推進システムとマリーナ設計に及ぼす影響 Alternative Propulsion Systems for Recreational Boats and Impacts on Marina Design
169	マリーナにおける火災検知・防火システム Fire system detection and controls in marinas
202	レクリエーション用インフラがウォーターフロント・プロジェクトに与える影響 Influence of Recreational Navigation Infrastructure on waterfront projects (PIANC RecCom – ICOMIA IMG joint WG)
209	レクリエーション用インフラにおけるAISデータ活用に関する提言 Recommendations for use of AIS data for recreational navigation infrastructure
223	マリーナにおける漁業コミュニティの意義ある包摂 - 計画ガイドライン Meaningful Inclusion of Fishing Communities in Recreational Marinas - Guidelines for Planning
220	レクリエーション施設におけるポンプ排水システムの計画・設計・運用ガイドライン Planning, Design and Operational Guidelines for Pump-Out Systems in Recreational Facilities
221	レクリエーション・ボート用船台・斜路の設計ガイドライン Design Guidelines for Recreational Boating Slipways

振興委員会(ProCom)の2025年第3回会合

第3回ProCom会合は、2025年9月2日にオンライン形式で開催されました。



ProCom委員は、新しいPIANCプロモーション・ツールキットや全てのProComサブグループの直近の活動状況報告について議論しました。各国部会支援・サブグループに関しては、2025年6月に送付した各国部会向けアンケートの結果について協議するため、ProComと各国部会事務局長との年2回の短時間オンライン会議を開催する予定です。

また、PIANC年報および電子ニューズレター「Sailing Ahead」の新しいフォーマットについても審議しました。

最後に、Kolman氏が2025年11月1日付で退任することをProComメンバーに報告しました。ProComメンバーは、長年にわたる協力に対し同氏に謝意を表明しました。

来る第46回若手技術者(YP-Com)代表者会議(オンライン会合)

YP-Com委員及びオブザーバーの皆さまへ、第46回YP-Com会議が2025年10月16日(木) 12時～15時(UTC+1)に開催されることを再度お知らせします。委員会及び世界中のコミュニティ全体で多くの動きや変化が生じており、これらのさまとの共有を考えています。会議の招待状と議題は近日中に送付されます！



PIANC YP'に初めて参加される方で、当委員会について知りたい方は、LinkedInを通じてご連絡ください。皆様にお会いできるのを楽しみにしております！

2025年の地域・若手技術者(YP)イベントのお知らせ(豪州・ニュージーランド部会)

若手技術者／学生向けネットワーキングイベント

- ・開催地：パース
- ・日程：2025年10月1日
- ・終了 <https://pianc.org.au/event/pianc-wa-yp-and-student-networking-event-1-oct-2025/>

リーダーシップ朝食会

- ・開催地：ブリスベン
- ・日程：2025年10月30日
- ・<https://pianc.org.au/event/brisbane-yp-breakfast-tues-24-june-7am/>

沿岸地域キャリアイベント

- ・開催地：クライストチャーチ
- ・日程：2025年10月30日
- ・<https://www.coastalsociety.org.nz/news-and-events/upcoming-events/>

NZCS会議における若手技術者交流会

- ・開催地：ネイピア
- ・日時：2025年11月19日
- ・<https://www.coastalsociety.org.nz/conferences/2025/networking-events/>

[Anja Brüning](#)

若手技術者委員会(YP-Com)事務局長

気候変動に関する常設タスクグループ(PTG CC)からのニュース

-シンポジウム「交通・輸送システム全体レベルの強靱化-課題と解決策(Transportation System-Level Resilience – Challenges and Solutions)」2025年9月12日-

交通・輸送モードは相互に接続されており、交通・輸送ネットワークの強靱性は、その最も脆弱な部分により決まります。異常気象やその他のシステム上のショックが移動手段に影響を与え、サプライチェーンを混乱させる頻度が増加しています。各モードのレベルだけでなくシステム全体レベルでの備えの強化が不可欠となっています。



2025年9月12日、PIANCスマートリバーズ会議に続き、PIANCはパートナー機関であるPIARC, UIC, EUROCONTROLと共にメンフィス大学の主催支援により、交通システム全体レベルの強靱性に関する1日間のハイブリッドシンポジウムを開催しました。

第1セッション「モードレベルにおける強靱性・

レジリエンス」では、国際鉄道連合(UIC)による鉄道レジリエンス, CEREMA/PIARCによる道路レジリエンス, EUROCONTROLによる欧州航空のレジリエンス, そしてホスト校メンフィス大学のNazari博士による都市洪水対策のレジリエンスについての発表がありました。全ての発表者は、交通システムを真に強靱化するためには、サイロ化の対応ではなく相互依存性を考慮することが重要であると強調しました。



第2セッション「不作為の結果」では、一連の事例研究に関する発表と非常に衝撃的な画像も示されました。アルゼンチンのパラナ・パラグアイ水路に影響を与える干ばつ(PTG CCメンバーであるGerardo Bessone氏(Bahia Blanca港)の発表), スペイン国家公共事業研究センター/PIARCによるバレンシア道路交通システムへの洪水被害, 欧州鉄道庁からの欧州鉄道システムへの異常気象の影響などです。Jan Brooke氏(退任するPIANC PTG CC議長)は、異常気象が港湾インフラに与える影響と強靱化投資のビジネスケース構築のために不作為の結果を評価する方法について考察しました。これは最近の[PTG CC技術ノートNo.2](#)の主題でもありました。

第3セッションでは「モード間連携による強靱化計画」について示唆に富む事例が多数紹介されました。参加者は以下の内容について聴講できました：災害後の農業・交通ネットワーク復旧, オランダにおけるマルチモーダル輸送強靱化の研究, 気候変動へのロンドン統合交通ネットワークの適応策, リアルタイムデータ活用による代替経路計画, レジリエントなサプライチェーン構築のための基幹的な接続点の特定などです。これらの分野で現在発展しつつある優れた実践例が明確に示されました。

最終セッションは、シンポジウム参加者が一日かけた一連の質疑応答結果に焦点を当てたパネルディスカッションで構成されました。この議論では、協働の強化, 連携した交通強靱化計画を促進するために業界が何をすべきかの明確化が目的となりました。詳細は次号ニュースレターでお伝えする予定ですが、その前に本イベントの講演資料は、[PTG CCウェブサイト](#)で公開されています。録画も近日公開予定です。



最後に個人的な所感として、本シンポジウムの成功を支えた方々だけでなく、PIANC PTG CCの活動に貢献していただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。議長職を退任するに当たり、[Travis Dahl](#)氏(PTG CC次期議長), [Brian Joyner](#)氏(引き続き事務局担務), そして他の全てのPTG CCメンバーの皆さまによる「気候変動への対応に取り組むPIANC会員への支援活動」が今後も成功していくことを願っています。

気候変動に備えるサプライチェーン

2月にPIANC-PTG CCが保険会社TT Clubと共同開催したウェビナー「気候変動レジリエンスへの投資」の成功を受け(録画は<https://www.youtube.com/watch?v=0fkqTtFW4dw>), TT Clubは新たな白書「[気候変動対応型サプライチェーン：港湾・水路・物流活動のための緊急ガイダンス](#)」を発行しました。PIANCの気候変動関連出版物の多くを紹介している点もさることながら、一読の価値があります！

[Jan Brooke](#)(退任するPTG CC議長)